

東西軸エリア活性化プランへの私見

基本的な考え方が「歴史」「文化」「食」の3つがテーマのようです。高知市の中心部を空洞化させるのではなく、元気にするために「3つのテーマ」から派生して、具体化し取り組まれているようです。

私見ですがそれでは「狭い」のではないかと私は思います。その理由は、「都市は社会サービス・システム」であると思うからです。そこで働き、遊び、学び、訪れる街です。

3つ以外に多様なテーマで物事を掘り下げて考え、立案する観点が必要であると思います。そうしなければ幅広い県民市民の支持を得られないと思うからです。

わたしは以下の要素が必要であると思います。

- 1) 高知市”再生”には都市計画が必要
- 2) 元中心市街地商店街の再生
- 3) 歴史のとらえかた
- 4) ユニバーサルな都市づくり 高齢者。障害者。乳幼児にやさしいまちづくり
- 5) エコの問題（地域生態計画）
- 6) 公共交通の最大活用 トランジットモール LRT 車の上手な処理方法
- 7) 防災・減災 南海地震時には高知市住民20万人が水没する街に住んでいる。
- 8) 音楽・エンターテイメント 映画館 よさこい まんが文化

1) 高知市の”都市再生”には都市計画が必要

従来型の「街路整備事業」や「箱物事業」ではなく、高知市のあるべき未来像を提示し、理想像を市民に提示し、計画策定段階からの市民参加にて事業を推進する姿勢が必要です。

高知の「適性人口規模」はどれくらいなのか？

市民にとってより良い都市生活とは何か？を市民全体で議論しなければならない。

都市計画の要素を8つ上げてみます。

1) 元中心市街地の再生事業。

地主と買い物客を含めた再生検討委員会の設立と運営。

中心街居住への誘導策。大都市部のリタイヤ者。医療・介護施設との連携。

2) 歴史の捉え方

郷土の歴史の見直し。

山内家所蔵の文化財展示の歴史観は、三菱企業の出資で建設すること。県費を投入してはならない。

3)ユニバーサルな都市づくり

高齢者・障害者・乳幼児にやさしいまちづくりの推進 人にやさしい都市には人が集まる

4) 地域生態計画による都市づくり

高知市は日本にさきがけ二酸化炭素を25%削減する都市になりましたと宣言する。
エコの事例の表示と表現は人を呼ぶ（観光）

5) 公共交通の最大活用

路面電車・路線バスのネットワーク化と一層の利用促進。

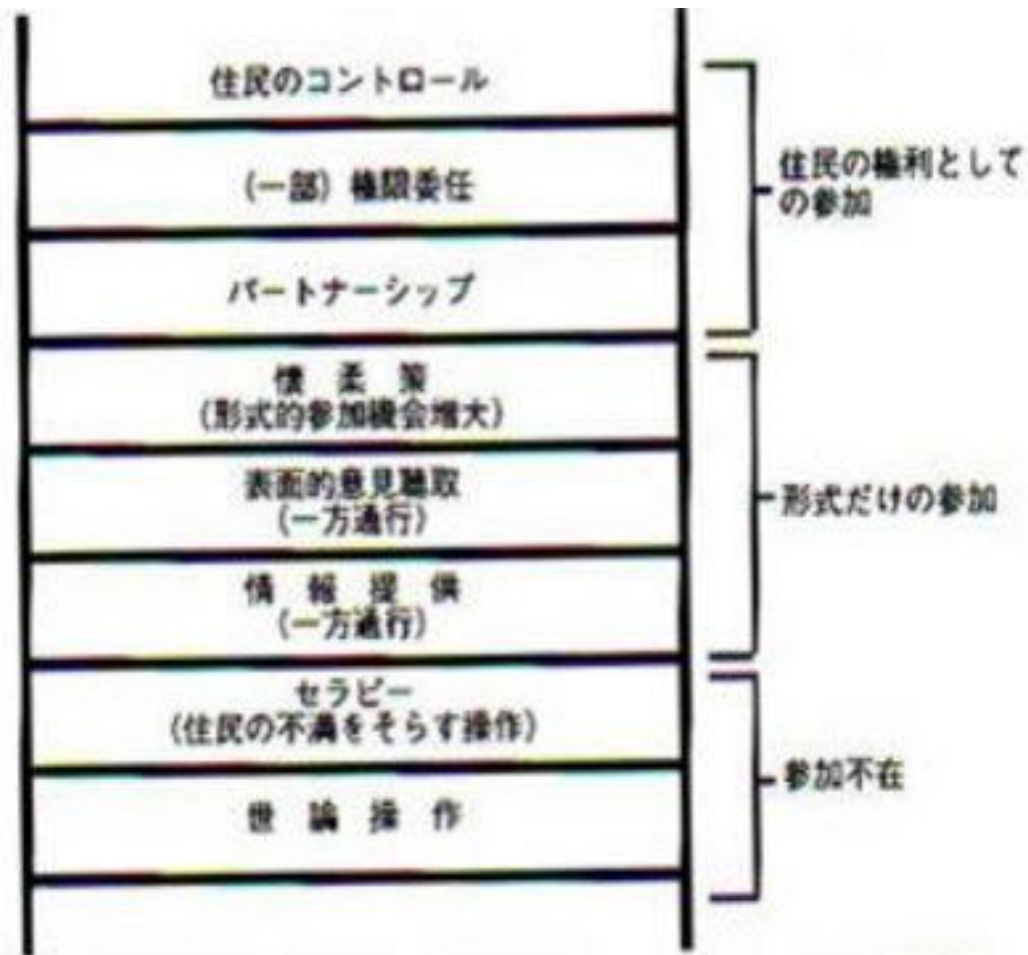
世界に類の無い路面電車博物館をこしらえる。

6) 災害に強い都市—高知市づくり

30年以内に襲来する南海地震対策の推進。その具体化。市民と観光客の安全確保

7) 音楽・エンターテインメント,映画館、よさこい,漫画の「強み」の推進。

2000人程度収容の「集客」装置を元中心市街地にこしらえる。



資料: Aronson, Sherry P., A ladder of citizen participation, in APJ Journal, July 1969より作成

住民参加の8段階 (「都市開発を考える」岩波新書より掲載)

計画策定段階からの市民参加が不可欠です。

2)元中心市街地商店街の再生

現在の高知市の中心商店街はイオンモールです。集客では歴然。映画館まであちらにあります。大丸百貨店が撤退しないうちに手を打たないと空洞化一段と進む。

商店街の活性化は実は簡単。アーケード商店街の入口と出口に集客力のある核店舗を配置し、両者をつなぐ商店街には特色ある店舗と飲食店を配置すれば良い。

- 1) 商店街は自助努力して,空き店舗対策を推進すべき。
- 2) チャレンジ。ショップ（学生・障害者・高齢者が店主にて）を開設すべし。
- 3) 商店街にきちんとしたトイレ（障害者用も）設置すべし。
- 4) エコで,ユニバーサルな商店街をめざす事を表現すること。
- 5) 映画館や劇場を商店街近くにこしらえる。コンサートホール（2000人収容の）
- 6) FM ラジオ局。テレビ局のサテライト・スタジオを商店街に常設すること。
- 7) 高知県観光案内所を商店街に設置する。
- 8) 商店街に自主防災組織を結成し、防災意識を高めること。
- 9) 商店主は店舗近くに居住し,午後9時までは営業すること。

3)歴史のとらえかた

龍馬ブームを一過性に終わらさないためには(次は長曾我部というのも?),地域の資源、伝承、歴史を正しく伝え、今の時代に表現することでしょう。

幕末維新期に志半ばで倒れた志士たちは土佐が1番多くダントツでした。身分差別が激しく、土佐勤王党を過酷に弾圧した山内家が維新の分け前にあずかる不条理は釈然とはしません。

山内家の所蔵品は貴重なものですが、歴史博物館をこしあえるのであれば、史実であっていただきたい。歴史的ないきさつから三菱グループに資金提供を要請することが筋でしょう。県費の投入には反対です。

入交好保さんたち青年たちによる坂本龍馬像の建設運動は爽やかです、きちんと歴史的な事実を県民各位や観光客に伝達すべきです。

*高知城付近を歩いて散策して、高知の歴史を感じる「装置」をこしらえるべきでしょう。それは既存の建物を極力利用することでしょう。

*新堀川は埋め立てるのではなく、史跡を整備することが大事です。かるぼーとを整備するか、史跡巡りを観光ルートにして、歴史を感じていただくしくみづくり。自動車道路工事は中止すべきでしょう。

4)ユニバーサルな都市づくり

高齢者・障害者・乳幼児にやさしいまちづくりの観点は、地方都市には絶対に必要です。

”東西軸”の活性化が検討されていますが、この観点が「弱い」と思います。

東京ディズニーランドは、障害者を「ゲスト」として扱っています。連絡をしておれば、人気アトラクションも行列することなく障害者もそのサポーターも一緒に見学することができます。

それは障害者が1人で来るのではない。必ず数人の家族や医療介護関係者と一緒に来場する。スロープを設置したり、障害者用トイレをこしらえたりしたり投資は必要ですが、より多くの来場者が来れば施設にとってはいいことです。

観光施設や商店街には障害者用トイレを設置する。

(事例は夜須のヤッシー・パーク。障害者用駐車場。トイレ、シャワーがあります。ビーチへの介助が楽な特殊な車いすランデーズが6台あり、関西方面からも障害者の人達が海水浴に来ています。

「高齢者・障害者・乳幼児にやさしい」ということは、高知の街全体が人にやさしい街ということになります。

検討委員に、福祉医療関係者、その家族の人達も入れるべきでしょう。

*県が策定している「日本1の長寿県構想」とリンクしたものでなければいけない。

5) エコの問題

地域生態計画によるまちづくり,都市計画が大事です。低地や沼地は本来住宅地や市街地にしてはいけない場所。高知市の市街地は殆ど該当している。

「高知市は日本に先駆けて二酸化炭素を30%削減したエコの街になりました。」ということ宣言する。その実例を高知市中心街である「東西軸」に展示する。

スーパーのレジ袋をやめました程度のちやちなものではなく、市民参加でおおがかりなものでなければならない。

自然エネルギー活用施設（太陽光・風力。木質バイオマスなどの活用事を促進する。）を目に見える場所で活用される観点。

なんでもかんでも車を引き入れるのではなく、路面電車,路線バス。自転車,徒歩での街の散策ができるような動線づくり。施設づくりを行う。(ワークショップでもやればいい)

環境先行都市だと言われている フライブルグ（ドイツ）やクルチバ（ブラジル）,ポートランド（アメリカ）を研究し,「良いところ取り」をすれば良いと思う。

6)公共交通の最大活用

エコの問題、「街全体が博物館」という構想や、コンパクトな市街地は、「人に優しい,ユニバーサルな」ものでなければならない。

{東西軸}を反スプロール、空洞化のレジスタントとするのであれば、「道具」として地方の公共交通(路面電車・路線バス)を有効活用しないといけないと思う。

*トランジット・モールを研究し,成功事例から良いところ取りをすべきでしょう。

*路面電車は「動く博物館」・観光時期にはボランティア・ガイドも乗車し、高知の良いところをPRすべきでしょう。

*路面電車と路線バスの活用は、「自然にやさしい街」の実現にもつながる。

*自動車交通の「上手な処理」をしないと、「東西軸」の活性化は絶対に成功はしない。中心部に「車を乗入れさせない」交通政策の確立が必要。最大限に地方交通機関の活用が必要になるからだ。

7)防災・減災を考慮したまちづくり

30年以内に必ず起きる南海地震。想定規模は巨大地震であります。予想では高知市内の市民20万人が居住する地域は地盤沈下で水没、長く水が引かない状態とされています。

高知の元中心商店街地域も例外ではありません。

災害対策。防災対策を考慮した施設づくり、まちづくりが必要です。

商店街に公共の予算を投下するのであれば、商店街に自主防災会を結成させるべきでしょう。店主と従業員、お客さん、観光客の安全・安心は基本であるからです。

災害時一時退避施設も同時に建設すべきです。

高知市種崎にある津波避難センター規模のものは、低地の市街地には必ず必要です。

8)音楽・エンターテインメント.映画館・よさこい・まんが文化

都市において「娯楽は必要」です。

30万規模の全国の都市で、2000人ホールと、野球場の夜間照明施設がないのは高知だけになりました。都市のインフラの貧弱さをあらわしています。

元高知市街地商店街には映画館もありません。街にたむろし、時間つぶしをする施設がなければ、必然商店街で買い物することもなくなります。

2000人ホールもかるぽーとにきちんとしらえていけば問題はありませんでしたが、当時の高知市社会教育課は排他的であり、四国全土で音楽興業をしているDUKEを排斥し、興行側の意見を全く無視し、使い勝手の悪い1000人ホールをこしらえ、結果大きな赤字を毎年垂れ流してしています。

古代ローマではどの地方都市にも道路と水道、広場がありました。野外劇場と公衆浴場もありました。都市生活に必要な「インフラ」（現在では2000人ホールと夜間照明のある球場）が高知市には欠如しています。

よさこいとまんがは検討委員会があるようです。「強み」を生かすには「プロ化」も必要であると思います。

よさこいであれば、プロの20人を選定し、よさこい会館で踊りを披露するだけでなく、全国へ出張指導し、そのお披露目の全国大会へ各地から高知へ集まってくるしくみをこしらえればいいのです。

音楽文化も四国はインディーズが盛んであると言われています。より高い音楽文化に県民が接することが文化水準を上げることになるからです。